

**【1】第38回日本パラ水泳選手権大会実施要項**  
( 世界パラ水泳連盟 (W P S) 公認大会 )

1. 目 的 本大会は、指定地域大会等で参加標準を突破した全国の障がい者が、日本一を決定する国内最大の水泳競技大会である。この大会において自己の有する能力に挑戦し、社会へ参加する意欲を大いに喚起するとともに障がい者のスポーツ振興を図ることを目的とする。また、水泳競技の魅力を知ってもらうとともに競技力の向上に資する。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、特別な対応ならびに感染症拡大防止策に基づいて開催する。
2. 大会名 第38回日本パラ水泳選手権大会
3. 主 催 一般社団法人 日本パラ水泳連盟 (以下「J P S F」という。)
4. 主 管 第38回日本パラ水泳選手権大会実行委員会
5. 後 援 スポーツ庁、厚生労働省、内閣府、(公財)日本障がい者スポーツ協会、(公財)日本水泳連盟、  
(予定) (社福)日本身体障害者団体連合会、(社福)全国社会福祉協議会、千葉県、千葉県教育委員会、  
(一社)千葉県障がい者スポーツ協会、(社福)千葉県身体障害者福祉協会、  
(社福)千葉県身体障害者福祉協会
6. 協 力 (一社)千葉県水泳連盟  
(予定) (一社)日本知的障害者水泳連盟、(一社)日本ろう者水泳協会
7. 協 賛 大和ハウス工業(株)、味の素(株)、(株)フジタ、(株)ゴールドウイン、  
(予定) (株)大和証券グループ本社、全日本空輸(株)、あいおいニッセイ同和損害保険(株)、  
富士通(株)、(株)トヨタ、パナソニック(株)、東京ガス(株)、三菱商事(株)、  
DHLサプライチェーン(株)、タキロンマテックス(株)、ヤマハ発動機(株)、  
(株)ヒカリスports、(株)グロリアツアーズ
8. 期 日 2021年11月20日(土)～21日(日)  
公式練習日11月19日(金) 13時～  
(練習時間を地域によって2～3に分ける場合がある。決定通知にて確認とする)
9. 会 場 千葉県国際総合水泳場 (50m×8レーン、水深2.04m)  
※JR京葉線「新習志野駅」南口徒歩1分  
<http://www.chiba-swim.gr.jp/guide/main.html>
10. 競技方法  
(1)個人種目は、男女別に行う。  
(2)個人種目及びリレーは、エントリータイム順で組分けし、すべてタイムレースとする。  
順位は一般・シニアそれぞれのクラス毎に集計・掲示され入賞者にメダルが授与される。
11. 競技種目 別紙【2】「競技種目一覧表」のとおり



12. 競技順序 16. 日程 (3) 競技日程のとおり

13. 競技規則 世界パラ水泳連盟(WPS) 競技規則および本大会要項等による。ただし、S21の選手については、障がい状態によって適用事項または泳法例外コードが判断される。またS15の選手はFINA規則が適用される。

14. 参加資格および制限

\*知的障害者の選手は別紙による。

\*当連盟の登録選手ではない(一社)日本ろう者水泳協会(以下JDSAとする)所属の選手は、JDSAから推薦を受けたものとし、オープン参加とする。

(以下はJPSSF登録選手のみ)

(1)参加資格 個人種目は、下記の①②を満たす者。もしくは①を満たし、③か④のいずれかに該当する

①2021年度日本身体障がい者水泳連盟登録者。

肢体不自由者および視覚障がい者は、エントリー時に日本パラ水泳連盟が認めた競技クラスを持っている者。

②下記の大会において、申込種目すべてが別紙【3】の参加標準記録に達している者。

- ・2021年度東北パラ水泳選手権大会(第29回2019年度東北身体障がい者水泳選手権大会含む)
- ・第33回2019年度関東身体障がい者水泳選手権大会(第35回大会延期のため)
- ・第27回2021年度中部障がい者水泳記録会(第26回2019年度中部障がい者水泳選手権大会含む)
- ・第30回2019年度近畿身体障がい者水泳選手権大会(第32回大会中止のため)
- ・第25回2019年度中国四国身体障がい者水泳選手権大会(第27回大会中止のため)
- ・第30回2019年度九州障がい者水泳選手権大会(第32回大会中止のため)
- ・2021ジャパンパラ水泳競技大会(神奈川県横浜市)
- ・第37回2020年度日本パラ水泳選手権大会(静岡県富士市)
- ・2020(強化指定選手等)秋季記録会(宮城県)
- ・2020年度・2021年度に当連盟へ登録・申請した通信記録会(本大会の申込み締切日までに記録の申請が終わっていること)
- ・2020年度に開催された各都道府県水泳連盟主催大会・マスターズ大会(記録を証明する資料の提出が必要)

③ 競技クラスを持っていない選手は50m自由形・背泳ぎ・平泳ぎ、バタフライのみオープン種目で出場できる。ただし、参加資格(1)②において同種目の記録があり、セルフクラスチェックを行い、参加標準記録に達していること。尚、セルフクラスチェックは10月に月上旬にホームページで案内する。

④ 各地域身体障がい者水泳連盟及び各地域障がい者水泳連盟から推薦を受けた者。

(2) 制限

①個人種目は、1人2種目以内とするが、リレーは含めない。

ただし、10月20日(水)申込み締切日に国際パラリンピック委員会(IPC)ライセンス登録をしている選手については、別紙標準記録に達している4種目まで参加可能とする。なお、400m自由形はライセンス登録者のみ出場できる種目である。

②リレーは、登録団体対抗とし1団体1種目1チーム以内とする。また、リレーに出場する選手は個人種目に参加し、競技クラスを持っている選手で編成されていること。

(3) 留意事項(状況によって変更となる場合がありますので経過はホームページで確認すること)

①大会で実施する各リレーはポイント制を採用する。28ポイントリレーと38ポイントリレーの両方に同一選手は参加できない。

②政府や開催地の新型コロナウイルス感染症対策、関連団体の感染拡大予防ガイドライン、スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン(スポーツ関係の新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインについて)

て：スポーツ庁 ([mext.go.jp](http://mext.go.jp))ならびに別紙【4】第38回日本パラ水泳選手権大会における新型コロナウイルス感染防止策(以下「第38回大会感染症防止策」という)に沿って行う。

③今大会は新型コロナウイルス感染症対策のため基本的には無観客大会とし、選手のみ入場できる。

ただし、介助が必要な場合等、必要最小限の同行者が入場できる(\*同行者の詳細は別紙【4】第38回感染症防止策を参照のこと)。別紙【4】第38回感染症防止策」を厳守して参加すること。感染症防止策を守れない場合は参加をお断りする。

④エントリー時点で納入された参加料等は返金しない。

参加標準記録に達していない等間違ってエントリーした場合でも返金しないので、エントリーする際は要項ならびに第38回感染症防止策等よく確認して申し込むこと。

ただし、新型コロナウイルス感染症拡大によって大会を中止した場合は参加料を返金する。

中止する場合はホームページにてお知らせする。

## 15. 表彰

(1)新型コロナウイルス感染症拡大予防対策で密を避けるため表彰式は行わない。メダル、トロフィー、記録証は別途引渡場所を設けるので大会終了までに受け取って帰ること。

(2)男女別、種目別、およびリレー種目で1位、2位、および3位の選手にメダルを授与する。ただし、参加申込者が2名(チーム)までの種目は1位のみ、3名(チーム)の種目は2位までにメダルを授与する。

(3)リレー優勝チームには優勝トロフィー等を授与する。

(4)完泳者全員に記録証を発行する。

(5)この大会の記録はクラス毎に結果を反映させてJPSFの記録として公認される。

リレーの第1泳者のタイムは公式記録として取り扱わない。

(6)日本記録は個人種目で、ステータスがJ、JR、JR西暦年、R、R西暦年、Cである場合を対象とする。

リレーは本大会のみの競技であり、大会記録のみとし、日本記録の対象としない。

(7)オープン参加の選手は表彰の対象とはしない。(また、JDSA経由で申込みしている選手は表彰の対象としない。)

## 16. 日程

(1)受付時間 11月20日(土) 8:30 ~ (予定)

11月21日(日) 8:30 ~ (予定)

(2)練習時間 11月19日(金) 13:00 ~ 17:00

※人数と参加選手地域によって別途決定時にお知らせする時間帯で練習すること。

11月20日(土) 8:40 ~ 9:50 (予定)

11月21日(日) 8:40 ~ 9:50 (予定)

(3)競技日程

競技順序	
11月20日(土) <1日目>	11月21日(日) <2日目>
開会 10:00	競技開始 10:00
競技開始 10:10 (予定)	17. 女子200m自由形
1. 女子400m自由形	18. 男子200m自由形
2. 男子400m自由形	19. 女子100mバタフライ
3. 女子200m個人メドレー	20. 男子100mバタフライ
4. 男子200m個人メドレー	21. 女子100m背泳ぎ
5. 女子150m個人メドレー	22. 男子100m背泳ぎ



6. 男子150m個人メドレー	23. 女子50m平泳ぎ (オープン・シニア競技を含む)
7. 女子50m背泳ぎ (オープン・シニア競技を含む)	24. 男子50m平泳ぎ (オープン・シニア競技を含む)
8. 男子50m背泳ぎ (オープン・シニア競技を含む)	25. 女子50m自由形 (オープン・シニア競技を含む)
9. 女子50mバタフライ (オープン・シニア競技を含む)	26. 男子50m自由形 (オープン・シニア競技を含む)
10. 男子50mバタフライ (オープン・シニア競技を含む)	27. 4×50mフリーリレー 28p
11. 女子100m自由形	28. 4×50mフリーリレー 38p
12. 男子100m自由形	閉会
13. 女子100m平泳ぎ	
14. 男子100m平泳ぎ	
15. 4×50mメドレーリレー 28p	
16. 4×50mメドレーリレー 38p	

注：今年度は申込状況などにより、一部変更することがある。リレーはタイムレースとする。

#### 17. クラス分け

本大会ではクラス分けは実施しない。ただし、2022年強化育成指定選手の申請希望者については別途検討する。

#### 18. アンチ・ドーピング (以下、JADAからの注意喚起文による)

- ・本大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。
- ・本大会参加者は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程に従い、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす。
- ・知的障害者及び大会期間中現在で未成年者(18歳未満)については、ドーピング検査を含むドーピング・コントロール手続に対する親権者からの同意書を持参しておくこと。  
詳しくは<https://www.playtrue.japan.org/jada/u18.html>にて確認し、同意書を準備して参加すること。
- ・本大会参加者は、本大会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
- ・2021年1月より日本アンチ・ドーピング規程ならびに運用が変更になっているので、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<http://www.playtrue.japan.org>)にて詳細まで確認すること。

#### 19. 免責事項

- (1)参加者の健康管理は、本人の責任とし各自十分注意すること。
- (2)会場における事故などについては応急処置のみとし、その他の責任は負わない。

#### 20. 申し込み

知的障害者の選手は別紙【5】による。(デジエントリーで申し込み)

当連盟の登録選手ではないJDSA所属の選手は、JDSAを通して申し込みを行う(推薦選手には、別途担当より案内をする)

(以下はJPSSF登録選手のみ)

**\*デジエントリー登録方法は別紙による。**

- (1)申し込み方法：デジエントリー方式を採用する。

(2)申込先：デジエントリー（株式会社デジサーフ）経由で一般社団法人日本パラ水泳連盟

(3)問合せ：下記にファックスまたはE-mailにて問い合わせること。

FAX:078-855-6685 E-mail: jpsf-moushikomi@paraswim.jp

〒651-0085 神戸市中央区八幡通4丁目1-15成樹ビル303

(4)参加費

個人種目 1種目 : 2,000円

リレー種目 1チーム : 3,000円

\*参加費の納入はデジエントリー入力時に、振込み手続きをする。

(5)締切日 2021年10月20日(水) \*締切後の追加申込・変更等は受け付けない。

(6)宿泊 幹旋しない。

(7)昼食 希望者は、デジエントリーから注文入力をする。 弁当1個900円(お茶付き)

(8)その他 プログラム・スタートリストを参加選手1人につき1冊無償で配布する予定

## 21. その他留意事項

(1)タッパーならびに入退水介助者は参加者で準備すること。タッパーや入退水介助者の申請は後日、決定通知で案内する。

(2)水着については、原則としてFINA及びWPSの規則に従うこと。

(3)本大会では、ユーチューブによる中継をする。誰もがインターネット等で競技を見ることができていることを理解の上、参加すること。

(4)(3)以外にも主催者や主催者が承認した報道機関に撮影・録音され、報道されることがあることを理解の上、参加すること。

(5)主催者側で撮影・録音した肖像はJPSFの広報活動や教育教材として使用することがあることを理解の上、参加すること。

(6)監督会議は行わないので、ホームページに掲載される注意事項を良く読んでおくこと。

また、当日必要な連絡事項は、場内放送とともに会場に掲示する。

(7)車椅子の貸し出しはないので、必要な場合は各自用意すること。

(8)競技中は安全を第一に行う。大会に参加する選手は、健康体であり、大会の参加に備えてトレーニングを十分に行っていること。障がい以外に高血圧症、心臓病等の持病がある場合は主治医に競技参加の許可を得て出場すること。健康状態において、競技続行中止の命令が出た場合は速やかに競技を中止すること。

(9)選手待機場所は観覧席とする。観覧席裏の通路は原則使用できない。

(10)その他、大会の開催について必要な事項は、第38回日本パラ水泳選手権大会実行委員会が定める。

## 22. 新型コロナウイルス感染拡大防止対策～別紙【4】から抜粋～

(1)会場内に入場する選手、あらかじめ申請のあった同行者、競技役員等は参加前14日間の健康チェックシートを提出し、入場が可能と判断された者のみ入場できる。入場可能な者にはADカードを渡すので、会場内では必ず身につけること。

(2)入場時及び必要に応じて非接触型温度計にて検温を行う。

(3)会場内では不織布マスクを着用し、3密（密集、密接、密閉）を回避すること。こまめな手洗い、咳エチケットを心がけること。また、大声での会話や声援は慎むこと。

(4)感染症拡大防止のため、時間帯で区切るなど練習時の人数や会場の入場人数を制限することがある。

(5)その他、詳細は別紙【4】「第38回感染防止策」に記載する。また感染状況により防止策に変更があった場合はホームページに掲載するので、随時確認すること。